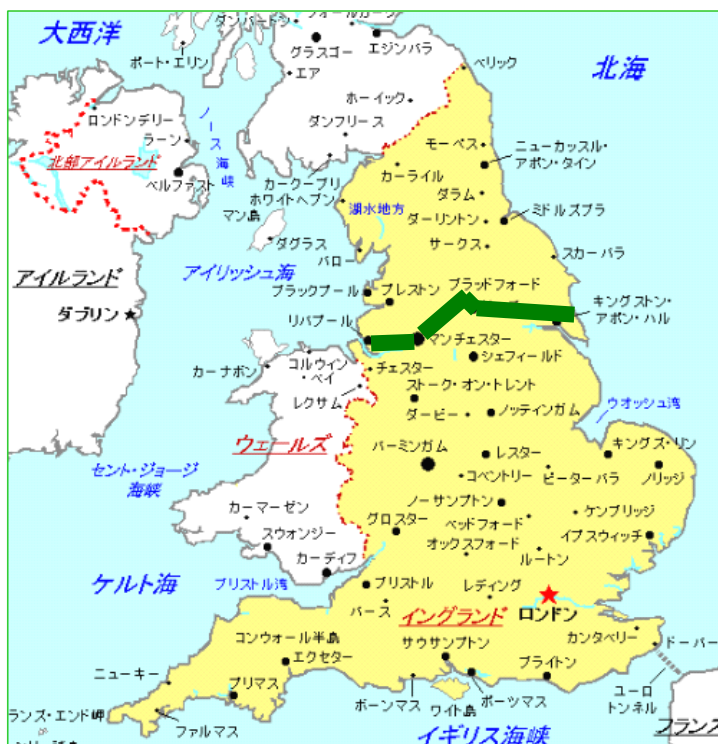


### 英政府、北部森林計画を発表

今年の初め、メイ首相は、政府の英国緑化25年計画を発表した。その計画の一環として、メイ首相の発表に続いて、政府によって具体的な新しい北方森林計画が発表された。これは、高速道路 M62 回廊に沿って新たな「北部森林」を作り出す野心的な計画である。

それは、今後 25 年間に、リバープールからマンチェスター、リーズ、ブラッドフォードを含むハルに至る約 200km にわたって高速道路 M62 沿いに 5,000 万本以上の樹木を植林することを目指して Northern Forest（以下、北部森林）と呼ぶ森林再生の大型プロジェクトをスタートさせるものである。



■ グリーンラインが計画の北部森林

北部森林は、森林に生息する鳥やコウモリの生息地を拡大し、赤リスなどの象徴的な種を保護するのに役立つ、その地域に住む数百万人が楽しめる静かなスペースを提供するのである。

この発表は、政府が今後行っていく英国緑化25年計画の一部を構成し、環境を継承した状態よりも良い状態にするための最初の挑戦となると思われる。

## メイ首相の談話

私たちが見つけたよりも良い状態を私たちの惑星に残すことは、きれいな空気と、動物の強い保護と、みんなが楽しむより緑豊かな空間を造り出すことは不可欠である。

現在政府は、有害なマイクロビーズを禁止し、特に海洋汚染の元凶となるプラスチックバックの有料化（1枚 5p-約7円）を実施しショッピング時のマイバック保有率を 83%に高めている。大気汚染や海洋汚染の改善には£30 億（約 5000 億円）以上を投資している。

しかし、未来のためのより素晴らしい自然環境を創造するためには 25 年緑化計画の実行を止めることはできない。そのためにも、政府はこの新しい北部森林の創造を支援し行くつもりである。

## マイケル・ゴープ環境・食品・農村省長官の談話

樹木は、私たちの最も大切にしている自然資産であり、将来の世代への投資の生きた証拠でもある。森林の美しさは不思議の源であるだけでなく、洪水の危険を管理し、貴重な種を保護し、働くことや生きるために健康的な場所を創りだし、提供する手段である。

この新しい北部森林は、野生生物が繁栄する豊かな生息地と何百万人もの人々が享受できる自然環境を提供し、イングランド北部の広大な森林地帯カバーし西海岸からに東海岸まで広げる野心的でエキサイティングなプロジェクトである。北部森林は緑の Brexit を提供し、私たち自身で見つけ、より良い状態で環境を残すという約束を実行するのに役立つはずである。

## オースティン・ブラディ ウッドランド・トラスト保存担当ディレクターの談話

「北方森林は新しい森林の創出を加速し、地域全体の既存の森林の持続可能な管理を支援する。より多くの樹木、森林、植林することは、炭素を大規模に閉じ込め、野生生物の生息地を増強し、町や都市を緑化するためのより良い環境を提供することになる。」と述べている。

政府、ウッドランド・トラストとコミュニティ・フォレストは、地域社会や幅広いパートナーと森林を提供するための新しい革新的な仕組みとなっている。政府が全てのパートナー全員に共通の経済を創出する努力の一環として、北部木質バイオマス発電所を作り、成長、投資、雇用を後押しして、この新しい森林が国の経済にとって£20 億（約 3000 億円）以上の価値を生み出すと推定している。きっと、この地域の息をのむような森林風景は世界で有名なスポットになるのではと予想されている。

最初の植林は既に今年3月に開始され、ボルトンのスミルズルにある680ヘクタールの北部森林の旗艦拠点で、遺産宝くじ基金からの資金援助を受けて行われる。ウッドランド・トラストはすでに、このプロジェクトに£1,000万（約15億円）以上の投資を行い、より広い森林地域に投資することを約束している。

北部森林は、マージーフォレスト、マンチェスター・シティー・オブ・ツリー、サウス・ヨークシャー・コミュニティフォレスト、リーズ・ホワイト・ローズフォレスト、ヘイウッドプロジェクトの5つのコミュニティ・フォレストをつなぎ - チェスター、リバプール、リーズ、マンチェスター、ハルなどの主要都市をカバーすることになる。

それはこれまでに植林に成功した国有林に続いており、イングランドの中心にある一部の国有林の200平方キロメートルを工業地帯に変換させている。この国有林は、現在年間800万人以上の観光客を惹きつけ、水面には水鳥やトンボなどの野生生物が繁栄している。

イギリスの森林率（森林面積 / 国土面積）は約12%、（日本は約70%）で決して高くはないが、少しでも森林面積を広げて将来的、木質バイオマスエネルギーの確保に照準を定めているのではないかと思われる。一方、都市部での市街地の膨張を食い止める手段としてぐるりと都市を囲むグリーンベルトの存在や、公園、街路樹、住宅の庭の樹木等々、生活空間の緑化は他国を圧倒しているのが現状である。

翻って、日本の国土の70%は森林であるが木質バイオマスエネルギー源としての活用や住宅の建材としての森林資源の活用に関しては、十分な活用がなされているとは言い難く今こそ、官民挙げて豊富な森林資源の活用に取り組むべきだと考える。（了）